

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	首都圏1	(2) 記載者氏名:	佐藤 充信	会員番号:	13203	事務局整理記入欄	00会 - 02
分水嶺区分	送電線下 ~ E341 ~ E342 ~ 荒海山	(3) 山行日:	2004年	11月	22日	(4) 天候:	夜半過ぎより雪、日中は晴

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

CL 佐藤 允信	13203			CL 大川 昭	13320		
田村 利弘	非会員			石井 孝行	13360		
				佐野 正之	13243		
計				計			
2名				3名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	送電線下 ~ E341 ~ E342 ~ 『荒海山』山頂 ~ 避難小屋(『南稜小屋』)												
アプローチ:	送電線下の鉄塔脇でテント泊												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	送電線下	荒海山	139	40	53.50	37	3	31.04	1,108.1		6:33		
分水嶺到達点	同上	同上	同上										
E341	1273.3m	荒海山	139	40	21.13	37	3	25.79	1,272	7:48	7:49	A-2/B-4	
	1246m	荒海山	139	40	16.81	37	2	53.73	1,258.5	8:56	9:07	B-3	
	1222m	荒海山	139	40	4.06	37	2	31.87	1,228.7	10:14	10:17	B-3	
	1276m	荒海山	139	39	20.73	37	2	30.94	1,282	12:09	12:10	B-3	
E342	1580.4m	荒海山	139	38	40.87	37	2	11.09	1,580	16:23	16:24	B-3/B-4	
	『荒海山』山頂	荒海山	139	38	37.47	37	2	9.78	1,584	16:30	16:33	B-2	
分水嶺離別点	同上	同上	同上										
歩行終了点	避難小屋(南稜小屋)	荒海山	139	38	37.16	37	2	10.24	1,575	16:35		A-2	注記: 避難小屋泊
総歩行時間(休憩時間を除く):											9時間12分		
総所要時間:											10時間02分		

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コード を記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
E341	伊勢沢(45-6401)	3	確認せず	良好	目視確認、深い藪の中で周りの刈込みはしていない。
E342	太郎岳(45-3101)	2	北	良好	周辺近傍仮払い。地上20cm程露出。5cm角で高さ30cm程の白色木柱及び10cm丸で1m長さの白色鉄柱あり。

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

避難小屋(『南稜小屋』として会津南稜会が管理している)は2.5万分の1の地形図(荒海山)には記載なし。

(9) 水および植生に関連した特記事項

行程間に水場はない。

(10) その他の特記事項

通信連絡は430MHz帯使用。午前11時半:実踏隊(1276m地点手前) 支援隊(荒海山系北側尾根/E139°38'27.1"、N37°02'25.5")
正午過ぎ:実踏隊(1276m地点付近) 支援隊(『荒海山』山頂)交信。午後4時以降:実踏隊(荒海山頂上付近)と
支援隊(荒海山から通常の登山道を野岩鉄道の会津高原駅まで下山途中)地形の関係で交信不可。
支援隊は飲料水を避難小屋(『南稜小屋』)まで搬送。
GPS(いずれもGarmin社製、eTrex Legend型)は実踏隊が"00会"所有品を、支援隊が日本山岳会事務局よりの借用品を持参。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
写真-1:太郎岳(E342)の二等三角点(偵察時[2004年9月12日]撮影)
写真-2:避難小屋(『南稜小屋』)